

算 数 通 信

テーマ：子どもたちの発言を軸にした授業展開

2 年「たし算とひき算のひっ算」 横山先生（せらにし小学校 2 年担任）

「ひっ算のしかたを考えよう」の 4 時間目の授業です。

子どもたちの発言を軸にした授業展開を心がけて授業を行われています。

問題 メダルを、ぜんぶで 129 こ作りました。
53 こくばると、のこりは何こですか。

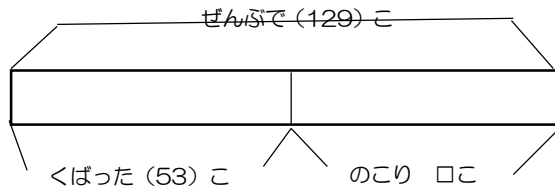
1 子どもの発言を授業展開に位置づける

問題提示のあと、

C 「のこり」と書いてあるから、ひき算です。

C 大きい数から引きましょうね。

T 数の大きさに、ひき算と決めていいの。ヒントがあるね。この図をみると分かるね。



T もんだいと図をつないでみよう。

「メダルを、ぜんぶで 129 こ作りました。」 「53 こくばると」

「のこりはなんこですか」

C ぜんぶで 129 こ作って、そのうち 53 こをくばったので、のこりはひき算でもとめます。

※児童の発言をもとに、問題と図をつないで、ひき算になることを理解させました。

2 子どもの疑問を授業展開に位置づける

ひっ算の計算式を書こうとしたら、子どもの中に書き方が分からない児童がいました。教師が教えればすむことかもしれませんが、授業者は授業の展開に位置づけました。

T A 君が困っているので、それを先に解決しようか。

C1 今までは 2 けただったからいいけど、3 けただと「1」を書くところがわかりません。

C2 2 のとなりに書けばいいんじゃないですか。

C3 たし算のとき、百のくらい、十のくらい、一のくらいをたてにそろえたのでどうですか。

C1

T 一の位をそろえました。十の位をそろえました。それでは「1」は何の位ですか。

C 百の位

T そうするとどうしますか。129 の 1 はどこに書きますか。

C1 百のくらいです。

1 はどこに？

29
53

C1の考え

	百	+	-
	1	2	9
	-	5	3

3 児童の発言で展開する

T ひく（－）はどこに書くのですか。

C1（百の位の下）ここでいいと思います。

C2それもあるけど、もし153だったら（百の位に）書けません。

C1でもやるのは、129－53です。129

－53 はじゃまにならないから書いていいです。

この先の展開をどうしますか。先を急いで、教師の方から教えたくくなります。

	百	+	-
	1	2	9
	1	5	3

C1そこ（百の位に）書いたら、1 と変なことになる。

C2「ひく」は数字とは別にするのはいいですか。「ひく」は数字ではないから、いっしょにしない。

T 数字と記号をかくところは、別々にするといことでよいでしょうか。

※教師が教えることを我慢したら、（波線）の発言を引き出しました。

4 「百のくらいから10をかりてくる」とは、どういうこと？

T ①くらいをそろえて書いた ②ひくは外に書いた その後は・・・

C ③一のくらいから計算します。

C 一のくらいを計算すると、 $9 - 3 = 6$ ですね。一のくらいは6です。

C 十のくらいはむずかしい。2－5はできない。

T 「くらいボックス」を使って考えてみましょう。

この100をどうするの。

C 10にくずして、十のくらいに移します。

C 10が12こになりました。

C 10が12－5で、70です。

C こうしてもいいです。 $100 - 50 = 70$ $70 + 20 = 90$

T くふうして計算できましたね。

C 説明できました。

T まとめましょう。

	百	+	-
	1	2	9
-		5	3

百	+	-
100	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	

学習支援としての「くらいボックス」

第24号算数通信で「展開する授業」を書きましたが、子どもたちの発言を軸にした授業展開をされているので、本号で紹介させていただきました。